

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【公開番号】特開2016-105997(P2016-105997A)

【公開日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-036

【出願番号】特願2016-59575(P2016-59575)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第1板面部を第2板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記金属板材における前記第2板面部の面積は、前記第1板面部の面積よりも大きく、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属板材における前記第2板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つず

つ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第1板面部を第2板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記金属板材における前記第2板面部の面積は、前記第1板面部の面積よりも大きく、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属板材における前記第2板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられる

ことを特徴とする。

また、本発明とは別に開示する別発明では、大当たり遊技の実行態様として複数の実行態様が用意されるとともに、それら実行態様のいずれかにて大当たり遊技が行われる遊技機であって、遊技領域に打ち出された遊技球を受け入れ可能な始動口と、前記始動口への遊技球の受け入れに基づいて、大当たりについての当落判定を行う当落判定手段と、前記当落判定の結果として大当たりが当選されると、前記複数の実行態様の少なくともいずれかを各々含む複数の大当たり形態を付与可能な状態とする当選状態制御手段と、前記複数の大当たり形態が付与可能な状態において、それら大当たり形態のいずれかを選択するとともに、該選択された大当たり形態のもとで、当該大当たり形態に含まれている大当たり遊技の実行態様の中から一の実行態様を決定する特定形態処理手段と、前記特定形態処理手段により決定された実行態様にて大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段と、前記遊技領域に打ち込まれた遊技球が第1受入口及び第2受入口のいずれかに受け入れられるように設けられる受入口手段とを備え、前記特定形態処理手段は、前記第1受入口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記複数の大当たり形態のうちの特定の大当たり形態を選択し、この特定の大当たり形態に含まれている大当たり遊技の実行態様の中から、第1の所定数量の遊技球が獲得可能とされる実行態様を、相対的に高い確率で決定可能とする基準形態制御手段、及び前記第2受入口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記複数の大当たり形態のうちの前記特定の大当たり形態とは異なる他の大当たり形態を選択し、この他の大当たり形態に含まれている実行態様の中から、第1の所定数量よりも多い第2の所定数量の遊技球が獲得可能とされる実行態様を、相対的に高い確率で決定可能とする増大形態制御手段を有しており、前記受入口手段は、前記増大形態制御手段により他の大当たり形態が選択される確率が所定値以下となるように前記第2受入口への遊技球の受け入れを基本的には許容せず、且つこの許容しない遊技球を、前記特定の大当たり形態が選択される前記第1受入口へと誘導するように設けられる可動体を有しており、前記可動体は、前記受入口手段に向けて遊技球が打ち出されるタイミングによっては、前記増大形態制御手段により他の大当たり形態が選択される確率が所定値を超える周期性のある動作を行う周期可動体として設けられてなることを要旨とする。